

事業実施主体等取組評価報告書(経営力の強化を目的とした整備事業)

都道府県名	三重県	報告年度	21年度
-------	-----	------	------

事業実施年度	市町村名	地区名	整備事業の取組内容	成果目標	目標値		事業実施後の状況			達成率	事業費 (千円)	負担区分(千円)				点検結果及び講じようとする措置又は点検評価及び講じようとする指導
					計画時	目標年	1年度目	2年度目	3年度目			交付金	都道府県費	市町村費	その他	
18	—	—	農業研修教育・農業総合支援センター施設整備(穀物乾燥機)	農業研修教育施設卒業生の新規就農率の向上(%)	20.0%	30.0%	21.1%	29.4%	40.4%	200.0%	1,469	734	735			目標年度の新規就農率目標を達成できました。今度も目標達成できるよう、卒業後の就農指導も含め、引き続き、先進的な技術習得の実践教育を通じて学生の就農意欲の向上を推進し、将来の三重県農業の担い手育成を図ります。
19	いなべ市	篠立	集落営農育成・確保緊急整備支援(高生産性農業用機械施設)	水田経営所得安定対策加入組織数	0	1	1	1		100.0%	12,804	6,401			6,403	—
				農地利用集積面積(ha)	12	13	12.4	12.4		40.0%						平成20年度の農地利用集積目標を達成できませんでした。篠立集落には23.5haの農地があり、個人Aと事業実施主体である(株)篠立営農の2つの担い手があります。篠立集落では、農用地利用改善団体である篠立農家組合が当該集落の農用地利用調整を行っており、これら2経営体に21.4ha(うち個人Aは9.0ha、(株)篠立営農に12.4ha)が集積され、農地集積率は91%となっています。目標を達成できなかった原因は、古くから当集落で営農しており集落での評価も高い個人Aに利用権設定を任せたいとする地権者等が多く、地権者等の同意が得られず目標達成に至らなかったためです。今後は、(株)篠立営農の技術力等に対する信用が定着してきたことから、(株)篠立営農への利用権設定が進み目標が達成される見込みです。